

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちゃお		
○保護者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	令和7年1月14日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用のお子さんの安全ご家族の安心につながる支援をしている。利用のお子さんについて、緊急連絡先(3か所)をお聞きして利用中の緊急時に対応できるようにしている。(緊急連絡カード)緊急連絡カードに記載の内容からアレルギーの有無や、てんかんの発作の有無、服薬の有無等について教えていただいている。	毎年4月に(その後契約した方は利用開始時に)緊急連絡カードをご家族から提出していただいて、利用時のお子様の注意点をお聞きして支援にあたっている。医師の指示書がある場合は、個別にご家族から説明をいただき利用中の支援に生かしている。	職員間で、てんかん発作への対応方法やエピペンの使用方法について、看護師さん等を講師に研修会を行っていく。毎月の安全点検の項目に組み込んで今後も必要な事柄について学習会を行っていく。
2	個々のお子さんについて適切にアセスメントを行い、お子さんが発達段階に応じてコミュニケーション能力を獲得していくことを支援している。	お子さんの話をよく聞くようにしている。相手のお子さんとの話し合いの中でも、自分の気持ちを表出してもらい、自分の体験を話すなどに時間を十分取り、職員が同席することもある。ことばで自分の気持ちや要求が言えない方については、職員が代弁することがある。その後、打ち合わせの時間等にお子さんの気持ち等について職員間で話し合っ今後の支援方針を決めていくようにしている。	お子さんからのことばでの表現だけでなく、指差し、身振り、絵カードの利用などのコミュニケーション能力の獲得への支援をしていく。その時のお子さんの状況をよく確認して、お子さんの気持ちの表出を支援していく。
3	職員の資質向上を図り、一人一人の職員が自分自身の目標を持ち質の高いサービスを提供できるように努めている。	定期的に職場内の研修を行っている。職員の資格取得のサポートをしている。職員全員が支援プログラムの内容を理解し当事業所で提供する支援の内容を確認し合いながら、個々のお子さんの障害特性や発達段階に応じて、細かく配慮しながら支援を行うことに取り組んでいる。	職員の業務内容を評価し、フィードバックして不足点を改善していくために、OJTのあり方を職員全体に伝え、支援の質を高めていく。職員一人一人が放課後等デイサービスで働く目標を持ち、前向きで積極的な気持ちや態度でお子さんに接し、困難な状況にあってもポジティブな考え方で支援できるように、ミーティングの時間を持つ。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他の子どもと活動できる機会がほとんどなかった。	放課後児童クラブや児童館を併用しているお子さんがほとんどいないため一緒に活動したり交流したりする機会が、偶然公園で出会ってあいさつをする程度になっている。	長期休みの公園遊びの日程を近くの放課後児童クラブにお知らせし、同じ公園で固定遊具等で一緒に遊ぶ機会を作っていく。当法人のこども食堂を紹介する文書をお持ちするなどよい機会として、近隣の放課後児童クラブや児童館と交流できる行事や公園の情報など連携できる方策を考えていく。
2	ご家族への支援の中で、きょうだい向けのイベントの開催やきょうだいへの支援が不足していた。	送迎時に家族と同行するきょうだい児には、一緒に遊んでから帰るように声を掛けているが、送迎利用のお子さんのきょうだい児については、会う機会が少なく支援が不足している。	芋煮会や遠足、クリスマス会などの行事への参加をすすめていく。その中できょうだい児の交流を進める。きょうだい児同士の交流を図り、困っていることがあれば相談できる体制を作っていくようにする。
3	兼務の職員や、時短勤務決まった曜日が休みの職員にどのようにしてミーティング内容を伝えていくか。	ミーティングの内容を自分のノートには記載するが、ミーティング用のノートへの書き込みが不足し、兼務の職員やパート勤務の職員に疎外感を感じさせてしまっている。	ミーティング用ノートへ記載する職員と伝達する職員を決め、ミーティング内容が必ず全職員に伝わるように改善していく。